



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

1月号

港区立南山幼稚園

平成30年1月9日

NANZAN Kindergarten



〒106-0046  
港区元麻布 3-8-15  
(3408) 4785

♪あけまして

おめでとうございます♪



保護者 川森さんによる鏡餅作りのデモンストレーション



鏡餅



保護者 川田さんによる演奏。  
曲目が全て終了していないのに、  
馴染みの曲にアンコールが！



冬季休業中に砂場のデッキの工  
事を行いました。

## 健康な心と体を育む

園長 小久保 篤子

新しい年が始まりました。日々、子どもたちの笑顔いっぱいの幼稚園生活を願い、園経営に取り組んでまいりましたが、今年も子どもたちの健やかな成長と幸せを願い、充実した幼稚園生活を送ることができますよう教職員一同、努力してまいります。

さて、お正月恒例の箱根駅伝では、今年も青山学院大学が総合優勝を果たしました。4連覇を成し遂げる背景には様々な努力があったことは誰もが想像するところかと思えます。その陸上部の原晋監督の著書には、就任当初、チームを強化するためにまず取り組んだこととして、「人として当たり前規則正しい生活をする」と記されていました。「当たり前」のことを基本にして、それらを継続させることがその後の力になるという言葉に、幼児期の教育と通じるものがあると思いました。

幼稚園教育は、幼稚園教育要領に基づいて行われています。昨年3月に告示された新幼稚園教育要領は今年4月から本格実施となります。5つの領域があり、そのうちの一つ、領域「健康」には、3つのねらいと10の内容が示されています。「健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する」というねらいや「健康な生活のリズムを身に付ける」「身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする」などの内容があります。

子どもたちが、朝、登園時刻に登園している姿、元気にあいさつをする姿は見ていて気持ちがよいものです。これらの姿は遊びや生活の中で身に付いていくものですが、「当たり前」の姿になるには、保護者の皆様の協力があってこそです。寒い季節に向かいますが、一緒に子どもたちの健康な心と体を育ててまいりましょう。

3学期もどうぞよろしくお願ひします。

